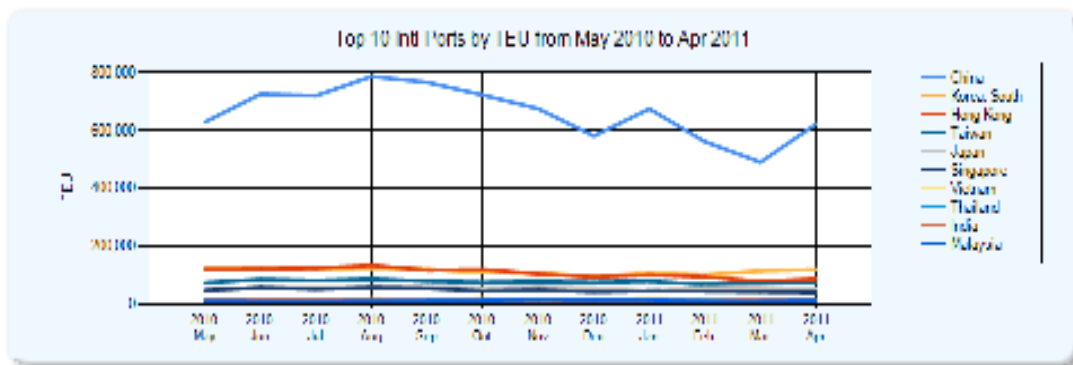


米国通関統計 4 月度輸入実績速報

ゼポ発表；アジア発米国向けコンテナ 4 月は前月比 15.7%増、前年比でも 3.1%増

中国は前月比 26.9%の大幅増， 日本発は震災影響で 13.1%のマイナス。



(4 月度年間月別トレンドチャート；Top Line 中国)

Source: Zepol Corporation-TradeIQ*

Zepol (ゼポ) Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、5 月 8 日、米国税関 AMS・B/L データを基に、米国海上輸入 4 月度実績をまとめました。

それによると、アジア主要 10 カ国発 (B/L・Loading Port・母船積地ベース・実入り TEU) は、先月に比べて 15.7%のプラスに転じ前年同期比でも 3.1%の増加となりました。

米国の 4 月輸入 (TEU) 各国総合計もアジア (中国) の増加分にカバーされ前月比+7.5%、前年比 +6.0%と堅調を維持しました。

先月マイナスだった中国、香港が 4 月は例年通りの第二四半期に向けて上昇し 3 月に比べて中国は 26.9%と大幅増加、香港も 11.6%の増加でした。前年比でも中国は 9%のプラスでした。(別表 1 参照)

日本発については、東日本大震災の影響が 4 月実績からは顕著に表れ、影響がほぼ見られなかった前月実績に比べて、日本積みでマイナス 13.1%、釜山経由 T S 分で-マイナス 13.6%となりました。(別表 2 参照)

日本積みは、前月に比べて、横浜港、東京港がそれぞれ 29.6%、17.0%のマイナスに、又、清水港と名古屋港もそれぞれ 11.9%、7.6%のマイナスでしたが、神戸港と大阪港はそれぞれ 10.1%、4.9%のプラスを示しました。

震災の影響が大きい自動車部品・タイヤ主要輸出企業 25 社の合計 TEU は、前月比で上記マイナス幅 13.1%を上回る 17.7%のマイナスとなりました。(データ省略)

別表1 アジア主要10カ国発 米国向け4月 TEU (母船積地ベース・実入り)

USA Import from Asia Top 10 – April 2011			
Top 10 Countries Loading Port ベース	April 2011 (TEU)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
1. China	621,738	26.9	9.0
2. Korea	119,567	4.0	-1.6
3. Hong Kong	86,941	11.6	-18.3
4. Taiwan	72,603	1.0	5.3
5. Japan	50,341	-13.1	0.0
6. Singapore	40,563	-4.6	-10.8
7. Vietnam	15,793	47.1	55.9
8. Thailand	13,679	3.5	-7.8
9. Malaysia	12,570	20.9	3.9
10. India	11,922	-15.8	-14.4
Asia Top 10 Total (Share 65% to WW)	1,045,717	15.7	3.1
USA Total Import	1,632,844	7.5	6.0

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

別表2 釜山港 T/S 4月 国別 TEU と前月比 (同上)

Place Receipt 荷受地ベース	April 2011 TEU (Share %)	前月比 (%)
1. Korea (自国分)	52,438 (49.4)	-1.9
2. China	40,385 (38.0)	10.1
3. Japan	4,469 (4.2)	-13.8
4. Vietnam	2,011 (1.9)	40.5
5. Indonesia	1,904 (1.8)	36.7
6. Taiwan	1,451 (1.4)	28.9
Top 6 Total	(96.6)	
Pusan Total	106,247 (100)	3.0
Korea Total	127,218	4.0

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

日本各港からの釜山港T/S分についても、前月に比べて博多港が13.5%のマイナス、大阪港、神戸港もそれぞれ16.5%、14.1%の減少で、広島、細島もマイナスでした。尚、日本積みのアジア各港からのT/S分の中で、中国(青島、新港、塩田)発だけが42.3%のマイナスになったのが目立ちました。(データ省略) 以上

?? Zepol (ゼポ) TradeIQ とは ???

- * Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS (Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol (ゼポ) が独自開発した検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。
- * 毎日数万件に及ぶ全米各港からの B/L 情報が 2003 年以來、既に 9 千万件蓄積されており、そのゼポのデータベースに各自のパソコンから簡単にアクセスし、検索・作表・ダウンロードが可能で、IT のパワーをフルに活用した速報性の高い分析ツールとして評価されています。
- * ロジステック関連 IT ソリューション・プロバイダーとして、Zepol は 2011 年発表の “Top 100 Logistics IT Providers” にも選ばれています。
(www.inboundlogistics.com/lit/top100.shtml List 添付)
- * PC 画面上で B/L #, Shipper, Consignee, Ports, Carrier, Products, Weight, TEU などの個別 B/L 記載内容のマトリックス分析が簡単に実現しました。
- * 又、Container Type, LCL/FCL, Empty/Loaded, FROB 貨物、などの区分も可能で目的に応じた分析が出来ます。
- * 毎月、約 40 日後に発表される商務省統計に先立ち、前月の米国輸入動向が翌月の上旬には把握できる「一番早く公表される米国貿易統計」です。
(ただし、公式データである AMS 記載内容を忠実にそのままデータベース化し、TEU もそれに基づいて一部推計していますが、もしも AMS 記録内容に誤りとかダブルカウントなどがあれば、その通り含まれる可能性があります)
- * 統計情報としての公的な情報価値に加えて、米国情報公開法により入手可能となっている個別 B/L 記載データは希少価値の高いファクト情報源です。
ゼポのクライアント企業、ポートオーソリティなどを含む公的機関に於いては、例えば国別、港別のトレンド分析から、すぐに同じ PC 画面上で荷主、相手港、輸入先、船社/NVOCC、品目・数量などアクチュアル情報への掘り下げを行いアクションに結び付けています。
統計分析ツールであると同時に市場競争の為のツールとして活用されています。
(www.zepol.com)

本リリースの内容と Zepol (ゼポ) に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp